

# 岩室中学校 図書館活用推進校 実践発表



## 【1】 岩室中学校の実態

現在の生徒数	148人
学級数	通常6 特支2
朝読書	週4回

購入冊数	約200冊
図書予算	37万円

令和6年度末の図書館データ	
蔵書数	9623冊
総貸出冊数	2893冊（一人当たり平均20.2冊）

- ・ 図書館を利用する生徒としない生徒に偏りがある。  
年間貸出冊数0冊の生徒もいる。
- ・ 学年が上がるにつれて来館者数、貸出冊数は減少する傾向がある。

## 【2】今年度の取組

### (1) 『読書センター』として

#### ① 図書館の定例活動

- ・ 『図書だより』を毎月発行
- ・ 毎月のテーマ展示
- ・ ポップの作成
- ・ 貸出冊数に応じて景品



#### ② 教員との連携

- ・ 図書館主任が来館し、生徒への声掛け、司書との情報交換を行っている。
- ・ 学校だより、全校朝会などでも図書館の本を取り上げてもらっている。
- ・ 秋の読書週間に、教職員のおすすめ本を展示・紹介した。
- ・ 年度末に、教職員に向け図書を職員室に展示・紹介している。



### ③ 委員会活動

- ・ 図書委員のおすすめの本のポスター掲示
- ・ 読書週間のイベント

前期 「クラス対抗読書王決定戦」  
おすすめの本の紹介の放送

後期 「クラス対抗百人一首大会」



## (2) 『学習センター』として

### ① 図書館資料を利用した授業

- ・ 保育園児に絵本の読み聞かせ (3年家庭科)
- ・ 新聞記事の紹介と発表 (全学年国語)
- ・ 和歌調べ (3年国語)
- ・ 新聞記事のレポート (全学年社会)



## ② その他

- ・ 定期テスト前は学習する生徒が多い。教員が来館して生徒からの質問を受けている。
- ・ 館内の机全てに、国語辞典と漢和辞典を置いている。
- ・ すぐに貸し出せるように、クラス人数分の辞書をカートに設置している。



## (3) 『情報センター』として

### ① 館内整備

- ・ サイン・ガイドをすべて新しいものに交換（ガイドのフォントは「UDデジタル教科書体」）
- ・ リーディングトラッカーの設置

### ② 「りんごの棚」展示（テーマ展示の一環として）



読書バリアフリーに  
配慮した取組



## (4) 小中連携事業

### ① 定例活動

- ・年に3回の情報交換会
- ・図書だよりの交換
- ・小学校の「うちどく」ポスターと中学校の図書委員のポスターを交換展示



### ② 「図書館アンケート」の実施

対象は岩室小、和納小の2、4、6年生、岩室中の2年生

- 分類表に関する質問（4問）
- 図書館利用についての質問（9問）※小2を除く

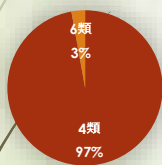
## R7 図書館アンケート（岩室中学校2年）

全45名のうち回答者数は36名

### i) NDC分類についての質問

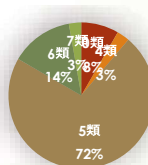
「あなたは今、学校図書館で本を探しています。次のことをしたいとき、何類の本棚から探しますか？ プリントの表（NDC分類表）を見て教えてください。」

(1) キリンが何を食べるか知りたいとき



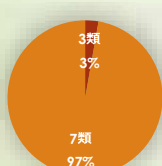
0類	・・・3人
4類	・・・1人
5類（正解）	・・・26人
6類	・・・5人
7類	・・・1人

(2) 自分でグミを作りたいとき



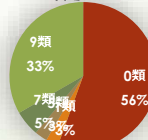
4類（正解）	・・・35人
6類	・・・1人

(3) 野球のルールを詳しく知りたいとき



3類	・・・1人
7類（正解）	・・・35人

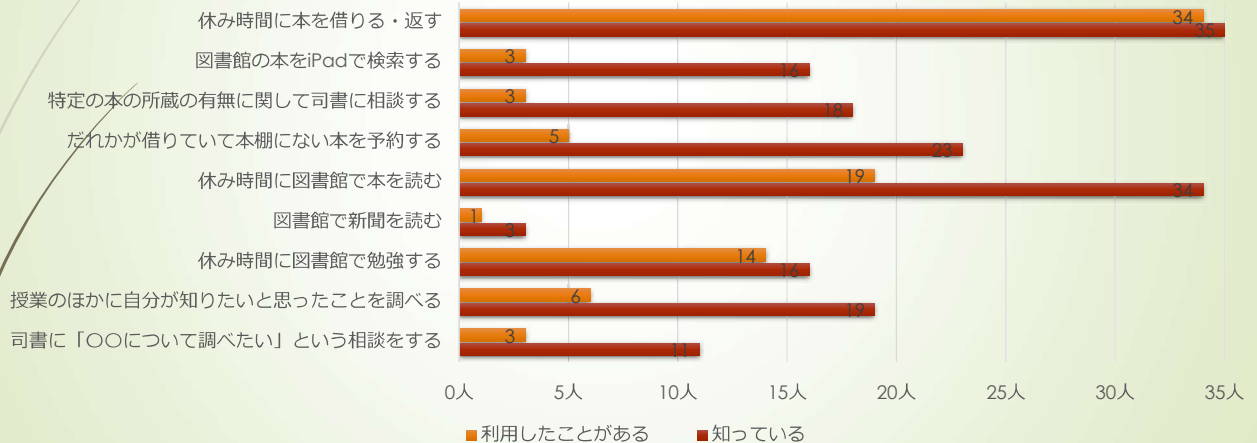
(4) 『かいけつゾロリ』や『ハリー・ポッター』を読みたいとき



0類	・・・20人
1類	・・・1人
5類	・・・1人
7類	・・・2人
9類（正解）	・・・12人

## ii) 図書館利用の知識と経験に関する質問

「学校図書館の利用についてききます。当てはまることからチェックしてください。いくつでもいいです。」



## ③ 今年度の小中連携事業を終えて

「9か年で育みたい図書館活用能力」の策定

	情報活用能力 (R2~)	読書に関する能力 (R7)
低学年	いくつかの資料の中から、知りたい事柄を選び取ることができる	図書館に親しみをもち、本を楽しむことができる
中学年	百科事典、図鑑などで目次や索引を使って調べることができる	集中して読書に取り組むことができる
高学年・中学生	資料を活用してテーマに則した自己解決を図ることができる	低・中学年で身に付けた読書の習慣を継続し、学年相当の選書、読書ができる

## 【3】今年度の取組の成果と課題

### (1) 成果

- 「新潟市生活・学習意識調査」の「本を読むことが好き」の肯定評価が78.4%
- ・小中連携の取組が有効にはたらいている。
- ・新たな取組が読書や図書館利用の意欲につながっている。  
(「先生のおすすめの本」「百人一首大会」「新聞記事スピーチ」など)

### (2) 課題

- ・小中連携での内容を共有し、オリエンテーションではレファレンスサービスや蔵書検索を実際に体験させる。
- ・新聞記事スピーチの模範原稿や、学習の流れを掲示し、見通しをもたせる。